

A-Syncシンポジウム 「先端科学で見る新しい日本酒像」

2026年1月23日（金）

講演会：東北大学農学研究科大会議室（16:00-18:05）

意見交換会：みどり厚生会館2F（18:15-20:00、要事前登録、会費4000円）

開催趣旨：

「日本酒」は、我々の食生活になじむと共に、日本の文化や祭礼・催事とも深く関連しています。またその製造方法は独特であり、かつ日本各地の気候風土に適応して発展してきたことから、ユネスコ無形文化遺産にも指定されました。一方で、NanoTerasuなどの先端科学によって、まだ我々が知らない日本酒像が姿を現しつつあります。このA-Syncシンポジウムでは、日本酒の伝統的な姿に加え、先端科学のターゲットとしての日本酒にも「光」をあて、幅広い分野からの成果を報告すると共に、参加者の皆様と「新たな日本酒像」と先端科学の貢献についての意見交換を行うことを目的とします。

第一部：講演会（事前登録不要）

16:00- 五味 勝也（東北大学農学研究科）

Keynote speech「日本酒の基礎知識」

16:30- 武藤 彰宣（東北大学農学研究科）

「日本酒（香味）の移り変わり」

16:45- 丸尾 容子（東北工業大学工学部）

「蛍光スペクトルと多変量解析で味の可視化に挑む」

17:15- 原田 昌彦（東北大学農学研究科）

「NanoTerasuとクライオ電顕で新たな日本酒像に迫る」

17:35- 原田 慈久（東京大学物性研究所）

「水-エタノール混合から日本酒へー 軟X線分光でつなぐ電子状態と味覚」



第二部：意見交換会

18:15-20:00（要事前登録、会費4,000円）

以下URLあるいはQRコードから登録ください（1月13日正午〆切）

<https://forms.gle/7eMAb7o3Dm2R7PXJ6>

主催：東北大学農学研究科附属放射光生命農学センター(A-Sync)

共催：東京大学物性研究所、東北工業大学工学部

株式会社一ノ蔵、宮城県、仙台市

NAGASE×東北大学 Delivering next.共創研究所

問合せ：A-Sync 原田（022-757-4333あるいはURL, QRコードから）

